

お客様各位

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検査内容を変更させていただきますのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

- 《変更日》 令和6年3月25日（月）受付分より
- 《変更項目》 別紙参照
- 《変更理由》 委託先見直しにおける変更（委託先はすべてビー・エム・エルに変更）

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.1	0025	ウロポルフィリン 尿	検体量	尿 3.0mL	尿 2.0mL
			所要日数	5 ~ 13日	4 ~ 9日
			基準値	2~25 $\mu\text{g/g} \cdot \text{CRE}$	36 $\mu\text{g/g} \cdot \text{CRE}$ 以下
			最小報告値	1 $\mu\text{g/g} \cdot \text{CRE}$ 以下	4 $\mu\text{g/g} \cdot \text{CRE}$ 未満
P.4	0155	リゾチーム 血清	検体量	血清 0.3mL	血清 0.4mL
			所要日数	3 ~ 6日	3 ~ 7日
			基準値	5.0~10.0 $\mu\text{g/mL}$	5.0~10.2 $\mu\text{g/mL}$
			最小報告値	1.0 $\mu\text{g/mL}$ 未満	0.1 $\mu\text{g/mL}$ 未満
	0156	リゾチーム 尿	検体量	尿 1.0mL	尿 0.4mL
			所要日数	3 ~ 8日	3 ~ 7日
			基準値	0.0 $\mu\text{g/mL}$	0.1 $\mu\text{g/mL}$ 未満
			最小報告値	0.0 $\mu\text{g/mL}$	0.1 $\mu\text{g/mL}$ 未満
	0169	ADA (アデノシンデアミナーゼ)	検体量	血清 0.5mL	血清 0.4mL
			所要日数	3 ~ 6日	2 ~ 6日
			基準値	4.8~23.1 U/L	8.6~20.5 U/L
			最小報告値	2.0 U/L未満	1.0 U/L未満
備考			溶血により高値傾向を示す	記載なし	
0170	ACE (アンギオテンシン I 転換酵素)	所要日数	3 ~ 6日	2 ~ 5日	
		基準値	7.0~25.0 U/L	7.7~29.4 IU/L	
		最小報告値	1.0 U/L以下	1.0 IU/L未満	
P.8	0276	HDL _{2,3} コレステロール	検体量	血清 1.4mL	血清 1.0mL
			所要日数	5 ~ 17日	3 ~ 9日
			検査方法	超遠心法 酵素法	超遠心法
			基準値	HDL ₂ : 17.7~74.0 HDL ₃ : 10.8~22.4 mg/dL	男 HDL ₂ : 16.0~61.0 HDL ₃ : 13.0~25.0 女 HDL ₂ : 23.0~73.0 HDL ₃ : 13.0~24.0 mg/dL
			備考	空腹時に採血し、血清分離後上清を冷蔵保存 凍結保存不可	凍結保存不可
P.12	0355	イオン化カルシウム	所要日数	3 ~ 6日	4 ~ 8日
			基準値	2.25~2.50 mEq/L	2.41~2.72 mEq/L
			最小報告値	1.00 mEq/L	0.20 mEq/L以下
			最大報告値	6.00 mEq/L	9.80 mEq/L以上

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.14	0616	ビタミンC (アスコルビン酸)	検体量	除蛋白上清液 1.0mL	除蛋白上清液 0.5 mL
			容器 (O容器)		
			所要日数	4 ~ 12日	4 ~ 8日
			基準値	4.7~17.8 µg/mL	(血清中) 5.5~16.8 µg/mL
			備考	<p>遮光</p> <p>(注) 血液をA1容器に採取し速やかに遠心分離後、血清1.0mLを正確にO容器に移し替え転倒混和してください。その後再度遠心分離してその上清をA2容器に移し替え遮光し、凍結保存してご提出ください。</p> <p>※検体採取 (除蛋白) 方法は別添参照</p>	<p>遮光</p> <p>(注) 血液をA1容器に採取し速やかに遠心分離後、血清0.5mLを正確にO容器に移し替え転倒混和してください。その後再度遠心分離してその上清をA2容器に移し替え遮光し、凍結保存してご提出ください。</p>
P.16	0692	メタノール (メチルアルコール)	検体量	尿 3.0mL	尿 2.0mL
			保存	必凍	凍結
			所要日数	6 ~ 21日	4 ~ 9日
			基準値	2.9 mg/L以下	3 mg/L未満
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	0.5 mg/L以下	3 mg/L未満
			備考	記載なし	検出限界未満を基準値とする
P.23	0726	リドカイン [薬物分析検査]	検体量	血清 0.5mL	血清 0.3mL
			所要日数	3 ~ 11日	3 ~ 7日
			有効治療濃度	1.5~5.0 µg/mL (中毒域：9.0以上)	1.2~5.0 µg/mL
			最小報告値	1.0 µg/mL未満	0.9 µg/mL以下
	0728	キニジン [薬物分析検査]	検体量	血清 0.5mL	血清 0.4mL
			所要日数	3 ~ 7日	3 ~ 11日
			有効治療濃度	1.0~5.0 µg/mL	2.0~6.0 µg/mL
			最小報告値	0.2 µg/mL未満	0.2 µg/mL以下
P.24	0709	ニトラゼパム [薬物分析検査]	保存	必凍	冷蔵
			所要日数	4 ~ 7日	4 ~ 8日
			有効治療濃度	20.0~100.0 ng/mL	20.0~200.0 ng/mL
			採血のタイミング	次回投与直前 (Trough濃度)	次回投与直前 (Trough濃度) (ただし抗てんかん剤として用いる場合)
			最小報告値	3.0 ng/mL未満	3.0 ng/mL以下

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.30 P.91	4381	デオキシピリジノリン (DPD)	検体量	尿 2.0mL (早朝第二尿)	尿 1.5mL (午前中第二尿)
			所要日数	4 ~ 8日	3 ~ 8日
			JLAC10	5C146-0000-001-021-28	5C146-0000-001-021-01
			備考	《判定基準》 骨粗鬆症薬剤治療の指標 骨量低下カットオフ値： 5.9nmol/mmol・CRE 骨折リスクカットオフ値： 7.6nmol/mmol・CRE 遊離型デオキシピリジノリンを測定 濃度が3.0nmol/L以下の場合、 クレアチニン補正值は「換算不可」で報告	《判定基準》 骨粗鬆症薬剤治療の指標 骨量低下カットオフ値： 5.9nmol/mmol・CRE 骨折リスクカットオフ値： 7.6nmol/mmol・CRE 遊離型デオキシピリジノリンを測定 濃度が3.0nmol/L未満の場合、 クレアチニン補正值は「算出不可」で報告
P.32	2610	コルチゾール 尿	検体量	蓄尿 1.0mL	蓄尿 0.5mL
			所要日数	3 ~ 6日	2 ~ 7日
			基準値	4.3~176.0 $\mu\text{g/day}$	5.5~66.7 $\mu\text{g/day}$
			最小報告値 (随時)	8.0 $\mu\text{g/L}$ 未満	3.0 $\mu\text{g/L}$ 未満
			備考	非抱合型コルチゾールを測定 24時間尿量を明記	24時間尿量を明記 蓄尿時は冷暗所に保管
P.33	0133	メタネフリン分画	所要日数	5 ~ 8日	4 ~ 8日
			基準値	メタネフリン：0.04~0.18 ノルメタネフリン：0.10~0.28 mg/day	メタネフリン：0.04~0.19 ノルメタネフリン：0.09~0.33 mg/day
			報告形態	メネフリ、ルメネフリ	メネフリ、ルメネフリ、メネフリ総
			最小報告値 (随時)	メタネフリン：0.01以下 ノルメタネフリン：0.01以下 mg/L	メタネフリン：0.01未満 ノルメタネフリン：0.01未満 mg/L
			備考	6N塩酸20mLを入れ24時間蓄尿 (pH3以下) 混和後必要量を冷蔵保存 予め尿量が400mL未満と予想される場合100mLに対して6N塩酸を1.5mLの割合で入れる (pH3以下に保持) 24時間尿量を明記	6N塩酸20mLを入れ24時間蓄尿 (pH3以下) 混和後必要量を冷蔵保存 24時間尿量を明記
	2495	5-HIAA (5-ヒドロキシインドール酢酸) 尿	検体量	酸性蓄尿 1.0mL	酸性蓄尿 0.5mL
所要日数			4 ~ 7日	4 ~ 8日	
検査方法			LC-MS/MS法	HPLC法	
JLAC10			4E070-0000-004-205-01	4E070-0000-004-204-01	
基準値			0.5~5.0 mg/day	1.0~6.0 mg/day	
最小報告値 (随時)			0.1 mg/L以下	0.1 mg/L未満	
備考			6N塩酸20mLを入れ24時間蓄尿 (pH3以下) 混和後必要量を冷蔵保存 予め尿量が400mL未満と予想される場合100mLに対して6N塩酸を1.5mLの割合で入れる (pH3以下に保持) 24時間尿量を明記	6N塩酸20mLを入れ24時間蓄尿 (pH3以下) 混和後必要量を冷蔵保存 24時間尿量を明記	

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.35	2594	プレグナンジオール	検体量	蓄尿 2.0mL	蓄尿 12.0mL
			容器	U1	U3
			所要日数	8～12日	7～10日
			検査方法	LC-MS/MS法	GC/MS法(酵素水解法)
			JLAC10	4F055-0000-004-205-01	4F055-0000-004-203-01
			基準値	男：0.12～0.93 女： 卵胞期：0.16～1.28 黄体期：0.69～4.70 閉経後：1.00以下 mg/day	男：0.16～0.79 非妊婦 卵胞期：0.28～1.42 黄体期：0.79～6.83 妊婦 前期：1.29～6.08 中期：3.05～24.22 後期：9.10～60.51 mg/day
			最小報告値(随時)	0.05 mg/L以下	0.01 mg/L以下
P.37	2638	サイクリックAMP (C-AMP) 血漿	検体量	血漿 0.4mL	血漿 0.3mL
			所要日数	7～15日	事前にご確認ください
			基準値	6.4～20.8 pmol/mL	11.00～21.00 pmol/mL
			報告形態	小数点第1位	小数点第2位
			最小報告値	0.1 pmol/mL未満	0.62 pmol/mL未満
			備考	記載なし	4℃で冷却遠心して血漿分離
P.39	6212	オリゴクロールバンド IEF	検体量	血清、髄液 各0.6mL	血清、髄液 各0.4mL
			所要日数	8～13日	8～12日
			基準値	(-)：バンド数0～1	陰性
			報告形態	(-) (+)	陰性 陽性
			備考	血清、髄液を同時に採取できない場合は、24時間以内に採取して両材料を合わせて提出 バンド数1本とは、血清中にはなく、髄液中にのみ検出されるバンドを意味する	記載なし
P.43	1209	ハプトグロビン(型判定あり)	所要日数	5～23日	3～7日
			基準値	1-1型：58～137 2-1型：93～147 2-2型：71～160 mg/dL	1-1型：83～209 2-1型：66～218 2-2型：25～176 mg/dL
			最小報告値	2 mg/dL未満	10 mg/dL以下
P.44	1222	α1-マイクログロブリン(α1MG) 血清	所要日数	3～6日	2～5日
			基準値	9.7～19.9 mg/L	9.1～18.4 mg/L
			最小報告値	0.9 mg/L以下	1.2 mg/L未満
	1223	α1-マイクログロブリン(α1MG) 尿	所要日数	3～6日	2～6日
			基準値	男：0.8～14.1 女：0.5～7.0 mg/L	8.3 mg/L以下
			最小報告値	0.0 mg/L	0.4 mg/L未満

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前		
P.44	1699	レチノール結合蛋白 (RBP)	検体量	血清 0.5mL	血清 0.3mL		
			所要日数	3～6日	2～6日		
			検査方法	ネフェロメトリー法	ラテックス凝集比濁法		
			JLAC10	5C030-0000-023-063-01	5C030-0000-023-062-01		
			基準値	2.5～7.1 mg/dL	男：2.7～6.0 女：1.9～4.6 mg/dL		
P.45	0941	血清補体価 (CH ₅₀)	検体量	血清 0.5mL	血清 0.4mL		
			所要日数	3～6日	2～6日		
			検査方法	免疫溶血濁度測定法	Mayer変法		
			基準値	30～45 U/mL	30.0～46.0 CH ₅₀ /mL		
			報告形態	整数	小数点第1位		
			最小報告値	5 U/mL未満	10.0 CH ₅₀ /mL未満		
	0946	C ₃	所要日数	3～6日	2～5日		
			基準値	80～140 mg/dL	65～135 mg/dL		
			最小報告値	5 mg/dL以下	1 mg/dL		
			0950	C ₄	所要日数	3～6日	2～5日
					基準値	11.0～34.0 mg/dL	13～35 mg/dL
					報告形態	小数点第1位	整数
最小報告値	1.0 mg/dL以下	1 mg/dL					
P.46	3333	抗ガラクトース欠損IgG抗体 (CA・RF)	検体量	血清 0.6mL	血清 0.3mL		
			保存	冷蔵	必凍		
			所要日数	3～7日	3～8日		
			最小報告値	1.1 AU/mL未満	1.0 AU/mL未満		
P.48	1366	抗ミトコンドリア抗体 (AMA)	検体量	血清 0.2mL	血清 0.3mL		
			所要日数	3～7日	2～6日		
P.49	1850	抗カルジオリピン・β ₂ グリアロブリン I 複合体抗体 (抗CL・β ₂ GP I 複合体抗体)	保存	冷蔵	必凍		
			所要日数	4～8日	2～7日		
			基準値	3.5 U/mL未満	3.5 U/mL以下		
			最小報告値	1.3 U/mL未満	0.7 U/mL未満		
P.65	0817	マイコプラズマ抗体 【PA法】 (マイコプラズマ・ニューモニエ抗体)	検体量	血清 0.2mL	血清 0.3mL		
			所要日数	3～6日	2～6日		

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.73 P.125	0619	サイトメガロウイルス核酸定量	検体量	血漿 2.0mL	血漿 1.5mL
			保存	冷蔵	必凍
			所要日数	3～8日	2～6日
			基準値	検出せず	1.5 LogIU/mL未満 増幅シグナル：検出せず
			報告形態	小数点第2位 定量報告下限値未満となった場合の報告 CMVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合： 1.49未満 (LogIU/mL) (定量下限未満のCMVを検出しました) CMVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出なかった場合： 検出せず	小数点第1位 定量報告下限値未満となった場合の報告 CMVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合： 1.5未満 (LogIU/mL) 増幅シグナル検出 CMVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出なかった場合： 1.5未満 (LogIU/mL) 増幅シグナル検出せず
			最大報告値	8.20 LogIU/mL以上	7.0 LogIU/mL以上
備考	重複依頼不可 採血後、速やかに遠心分離しそのまま冷蔵保存	重複依頼不可 採血後、速やかに遠心分離しそのまま冷蔵保存			
P.75	1806	日本脳炎ウイルス抗体 髄液【HI法】	検体量	髄液 0.4mL	髄液 1.0mL
			所要日数	5～13日	5～10
			基準値	1 倍未満	10 倍未満
			報告形態	ジャガー株、中山株	ジャガー株
			最小報告値	1 倍未満	10 倍未満
P.76	1586	ムンプスウイルス抗体【CF法】	所要日数	4～8日	3～8日
P.82 P.126	7029	HBV-DNA定量 TaqManPCR	検体量	血清 2.0mL	血清 2.1mL
			所要日数	4～8日	3～7日
			基準値	検出せず	1.0 LogIU/mL未満 増幅シグナル：検出せず
			報告形態	(注1) 定量報告下限値未満となった場合の報告 HBVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合： 1.0未満 (LogIU/mL) (定量下限未満のHBVを検出しました) HBVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出なかった場合： 検出せず	(注1) 定量報告下限値未満となった場合の報告 HBVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合： 1.0未満 (LogIU/mL) (定量下限未満のHBVを検出しました) HBVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出なかった場合： 検出せず
			最大報告値	9.1 LogIU/mL以上	9.0 LogIU/mL以上
			備考	重複依頼不可 凝固完了後、遠心分離しそのまま凍結保存	重複依頼不可 凝固完了後、遠心分離しそのまま凍結保存 (注2) 採血量が5.0mLに満たない場合は測定不可能となる場合があります。

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.84 P.126	6975	HCV-RNA定量 TacManPCR	検体量	血清 2.0mL	血清 2.1mL
			所要日数	4～7日	3～7日
			基準値	検出せず	1.2 LogIU/mL未満 増幅シグナル：検出せず
			報告形態	(注1) 定量報告下限値未満となった場合の報告 HCVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合： 1.2未満 (LogIU/mL) (定量下限未満のHCVを検出しました) HCVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出なかった場合： 検出せず	(注1) 定量報告下限値未満となった場合の報告 HCVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合： 1.2未満 (LogIU/mL) (定量下限未満のHCVを検出しました) HCVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出なかった場合： 検出せず
			最大報告値	8.1 LogIU/mL以上	8.0 LogIU/mL以上
			備考	重複依頼不可 凝固完了後、遠心分離しそのまま凍結保存	重複依頼不可 凝固完了後、遠心分離しそのまま凍結保存 (注2) 採血量が5.0mLに満たない場合は測定不可能となる場合があります。
P.95	2019	プラスミノーゲン活性	検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.5mL
			所要日数	3～6日	2～6日
			JLAC10	2B260-0000-022-315-31	2B260-0000-022-315-01
			基準値	80～130 %	71～128 %
			最大報告値	200 %以上	151 %以上
	2020	アンチプラスミン活性	検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.5mL
			所要日数	3～6日	2～6日
			JLAC10	2B270-0000-022-315-31	2B270-0000-022-315-01
			基準値	80～130 %	85～118 %
			最大報告値	200 %以上	121 %以上
P.96	2023	TAT (トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体)	検体量	血漿 0.4mL	血漿 0.5mL
			所要日数	3～6日	2～6日
			基準値	4.0 ng/mL未満	3.0 ng/mL未満
			最小報告値	0.4 ng/mL未満	1.0 ng/mL未満
			最大報告値	120.0 ng/mL以上	120.1 ng/mL以上
	2024	PIC (α_2 プラスミンインヒビター・プラスミン複合体)	所要日数	3～6日	2～6日
			検査方法	ラテックス凝集法	LPIA法
			基準値	0.8 μ g/mL以下	0.8 μ g/mL未満
			最小報告値	0.2 μ g/mL以下	0.1 μ g/mL未満
			最大報告値	40.0 μ g/mL以上	40.1 μ g/mL以上

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.96	2016	プロテインC抗原量	所要日数	3～6日	2～8日
			検査方法	ラテックス凝集法	LPIA法
			基準値	70～150 %	62～131 %
			最小報告値	5 %以下	10 %未満
	2017	プロテインC活性	検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.5mL
			所要日数	3～6日	2～6日
			JLAC10	2B700-0000-022-315-31	2B700-0000-022-315-01
			基準値	70～140 %	64～135 %
			最大報告値	200 %以上	151 %以上
	2031	プロテインS活性	所要日数	3～8日	2～8日
			JLAC10	2B710-0000-022-311-31	2B710-0000-022-311-01
			基準値	63.5～149.0 %	64～149 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	10.0 %以下	10 %未満
			最大報告値	最終値	151 %以上
P.97	1997	凝固第Ⅱ因子	項目名称	凝固第Ⅱ因子活性	凝固第Ⅱ因子
			会計名称	凝固第Ⅱ因子活性	凝固第Ⅱ因子
			顧客 端末用略称	凝固第Ⅱ因子活性	凝固第Ⅱ因子
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.4mL
			所要日数	3～8日	3～7日
			検査方法	ヒト欠乏血漿による補正法 (凝固一段法)	凝固時間法
			JLAC10	2B350-0000-022-311-31	2B350-0000-022-311-01
			基準値	66.0～118.0 %	75～135 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	1.0 %未満	3 %以下
			最大報告値	200.0 %以上	200 %以上

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.97	1998	凝固第Ⅴ因子	項目名称	凝固第Ⅴ因子活性	凝固第Ⅴ因子
			会計名称	凝固第Ⅴ因子活性	凝固第Ⅴ因子
			顧客 端末用略称	凝固第Ⅴ因子活性	凝固第Ⅴ因子
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.4mL
			所要日数	3～8日	3～7日
			検査方法	ヒト欠乏血漿による補正法 (凝固一段法)	凝固時間法
			JLAC10	2B370-0000-022-311-31	2B370-0000-022-311-01
			基準値	73.0～122.0 %	70～135 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	1.0 %未満	3 %以下
			最大報告値	200.0 %以上	200 %以上
	1999	凝固第Ⅶ因子	項目名称	凝固第Ⅶ因子活性	凝固第Ⅶ因子
			会計名称	凝固第Ⅶ因子活性	凝固第Ⅶ因子
			顧客 端末用略称	凝固第Ⅶ因子活性	凝固第Ⅶ因子
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.4mL
			所要日数	3～8日	3～7日
			検査方法	ヒト欠乏血漿による補正法 (凝固一段法)	凝固時間法
			JLAC10	2B380-0000-022-311-31	2B380-0000-022-311-01
			基準値	54.0～162.0 %	75～140 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	1.0 %未満	3 %以下
			最大報告値	200.0 %以上	200 %以上
	2000	凝固第Ⅷ因子	項目名称	凝固第Ⅷ因子活性	凝固第Ⅷ因子
			会計名称	凝固第Ⅷ因子活性	凝固第Ⅷ因子
			顧客 端末用略称	凝固第Ⅷ因子活性	凝固第Ⅷ因子
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.4mL
			所要日数	3～8日	3～7日
			検査方法	ヒト欠乏血漿による補正法 (凝固一段法)	凝固時間法
			JLAC10	2B390-0000-022-311-31	2B390-0000-022-311-01
			基準値	78.0～165.0 %	60～150 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	1.0 %未満	1 %以下
			最大報告値	200.0 %以上	200 %以上

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.97	2001	凝固第Ⅸ因子	項目名称	凝固第Ⅸ因子活性	凝固第Ⅸ因子
			会計名称	凝固第Ⅸ因子活性	凝固第Ⅸ因子
			顧客 端末用略称	凝固第Ⅸ因子活性	凝固第Ⅸ因子
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.4mL
			所要日数	3～8日	3～7日
			検査方法	ヒト欠乏血漿による補正法 (凝固一段法)	凝固時間法
			JLAC10	2B400-0000-022-311-31	2B400-0000-022-311-01
			基準値	67.0～152.0 %	70～130 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	1.0 %未満	1 %以下
			最大報告値	200.0 %以上	200 %以上
	2002	凝固第Ⅹ因子	項目名称	凝固第Ⅹ因子活性	凝固第Ⅹ因子
			会計名称	凝固第Ⅹ因子活性	凝固第Ⅹ因子
			顧客 端末用略称	凝固第Ⅹ因子活性	凝固第Ⅹ因子
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.4mL
			所要日数	3～8日	3～7日
			検査方法	ヒト欠乏血漿による補正法 (凝固一段法)	凝固時間法
			JLAC10	2B410-0000-022-311-31	2B410-0000-022-311-01
			基準値	58.0～200.0 %	70～130 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	1.0 %未満	3 %以下
			最大報告値	200.0 %以上	200 %以上
	2003	凝固第ⅩⅠ因子	項目名称	凝固第ⅩⅠ因子活性	凝固第ⅩⅠ因子
			会計名称	凝固第ⅩⅠ因子活性	凝固第ⅩⅠ因子
			顧客 端末用略称	凝固第ⅩⅠ因子活性	凝固第ⅩⅠ因子
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.4mL
			所要日数	3～8日	3～7日
			検査方法	ヒト欠乏血漿による補正法 (凝固一段法)	凝固時間法
			JLAC10	2B420-0000-022-311-31	2B420-0000-022-311-01
			基準値	75.0～137.0 %	75～145 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	1.0 %未満	3 %以下
			最大報告値	200.0 %以上	200 %以上

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.97	2004	凝固第Ⅱ因子	項目名称	凝固第Ⅱ因子活性	凝固第Ⅱ因子
			会計名称	凝固第Ⅱ因子活性	凝固第Ⅱ因子
			顧客 端末用略称	凝固第Ⅱ因子活性	凝固第Ⅱ因子
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.5mL
			所要日数	3～8日	2～8日
			検査方法	ヒト欠乏血漿による補正法 (凝固一段法)	APTT法
			JLAC10	2B430-0000-022-311-31	2B430-0000-022-311-01
			基準値	36.0～152.0 %	46～156 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	1.0 %未満	1 %未満
			最大報告値	200.0 %以上	201 %以上
	2005	凝固第Ⅲ因子	項目名称	凝固第Ⅲ因子抗原量	凝固第Ⅲ因子
			会計名称	凝固第Ⅲ因子抗原量	凝固第Ⅲ因子
			顧客 端末用略称	凝固第Ⅲ因子抗原量	凝固第Ⅲ因子
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.4mL
			所要日数	3～6日	2～8日
			検査方法	ラテックス凝集法	ラテックス凝集比濁法
			JLAC10	2B440-0000-022-062-31	2B440-0000-022-062-01
			基準値	70～140 %	70 %以上
			最小報告値	10 %未満	5 %未満
			最大報告値	300 %以上	201 %以上
			2008	凝固抑制第Ⅷ因子	容器
	所要日数	3～8日			3～7日
	基準値	1.0 ベセスダU/mL以下			検出せず ベセスダU/mL
	報告形態	小数点第1位			整数
	最小報告値	0.5 ベセスダU/mL未満			検出せず ベセスダU/mL
	備考	重複依頼不可 採血後、速やかに遠心分離し凍結保存			採血後、速やかに遠心分離し凍結保存
	2009	凝固抑制第Ⅸ因子	容器	C (2本) →A2	C2→A2
			所要日数	3～8日	3～7日
			基準値	1.0 ベセスダU/mL以下	検出せず ベセスダU/mL
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	0.5 ベセスダU/mL未満	検出せず ベセスダU/mL
			備考	重複依頼不可 採血後、速やかに遠心分離し凍結保存	採血後、速やかに遠心分離し凍結保存

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.97	2007	第Ⅷ因子様抗原 (フォン・ヴィレブランド因子抗原)	項目名称	フォンウィルブランド因子抗原量	第Ⅷ因子様抗原
			会計名称	VW因子抗原量	第Ⅷ因子様抗原
			顧客 端末用略称	フォンウィルブランド 因子抗原	第Ⅷ因子様抗原
			検体量	血漿 0.4mL	血漿 0.2mL
			所要日数	3～8日	3～7日
			検査方法	ラテックス凝集法	ラテックス凝集反応
			基準値	O型：42.0～140.8 % A型・B型・AB型： 66.1～176.3 %	50～155 %
			報告形態	小数点第1位	整数
			最小報告値	2.0 %未満	5 %以下
	備考	重複依頼不可 採血後、速やかに遠心分離し凍結保存	採血後、速やかに遠心分離し凍結保存		
	2006	フォン・ヴィレブランド因子活性 (vWF、リストセチンコファクター)	項目名称	フォンウィルブランド因子活性	フォンヴィレブランド因子活性
			会計名称	VW因子活性	フォンヴィレブランド
			顧客 端末用略称	フォンウィルブランド 因子活性	フォンヴィレブランド
			検体量	血漿 0.3mL	血漿 0.5mL
			所要日数	3～8日	3～7日
			JLAC10	2B480-0000-022-316-31	2B480-0000-022-316-01
			基準値	50～150 %	60～170 %
			最小報告値	10 %未満	6 %以下
			最大報告値	200 %以上	999000000%
備考	重複依頼不可 採血後、速やかに遠心分離し凍結保存	採血後、速やかに遠心分離し凍結保存			
—	5534	Ⅳ型コラーゲン	検体量	血清 0.5mL	血清 0.3mL
			所要日数	3～6日	2～6日
			検査方法	ラテックス凝集法	ラテックス凝集比濁法
			基準値	140 ng/mL以下	150 ng/mL以下
	3172	ADA (アデノシンデアミナーゼ) 胸水	検体量	胸水 0.5mL	胸水 0.4mL
			所要日数	3～6日	2～6日
			基準値	(参考値) 結核性胸膜炎症例：50.4～154.6 肺癌症例：10.9～36.1 心不全等上記以外の症例：3.2～8.8 U/L	設定なし U/L
最小報告値	2.0 U/L未満	1.0 U/L未満			

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
—	5912	IgGインデックス	検体量	血清・髄液 各0.6mL	血清・髄液 各1.0mL
			所要日数	3～7日	3～15日
			基準値	INDEX・IgG値：0.73以下	設定なし
			最小報告値	INDEX・IgG値：0.10未満 IgG（血清）：6未満 IgG（髄液）：0.2未満 ALB（血清）：100未満 ALB（髄液）：0.2未満 mg/dL	INDEX・IgG値：0.01以下 IgG（血清）：30以下 IgG（髄液）：0.3以下 ALB（血清）：1以下 ALB（髄液）：1.0以下 mg/dL
	4650	PIVKA-II 材料違い [腫瘍]	検体量	各種材料 0.6mL	各種材料 0.4mL
			所要日数	3～6日	2～6日
	5178	TSHレセプター抗体阻害型	所要日数	5～13日	3～7日
			基準値	13.1%未満 《参考基準値》 ・SI (Stimulation Index) 甲状腺刺激ホルモン受容体 (TSHR) への刺激活性の指標：設定なし ・BI (Blocking Index) 刺激活性を排除したTSBAbs 阻害活性の指標：8.0%未満	《参考基準値》 ・TSBAbs TSHレセプター抗体阻害型：13.1%未満 ・SI (Stimulation Index) 甲状腺刺激ホルモン受容体 (TSHR) への刺激活性の指標：設定なし ・BI (Blocking Index) 刺激活性を排除したTSBAbs 阻害活性の指標：8.0%未満
	0314	黄色ブドウ球菌POT	項目名称	MRSA POT	黄色ブドウ球菌POT
			会計名称	MRSA POT	黄色ブドウ球菌POT
			顧客 端末用略称	MRSA POT	黄色ブドウ球菌POT
			所要日数	10～15日	17～27日
			JLAC10	6B612-0000-080-856-49	6B631-0000-080-856-49
	9378	可溶性IL-2受容体 材料違い (可溶性インターロイキン-2レセプター)	検体量	各種材料 0.5mL	各種材料 0.4mL
			実施料	未収載	438 (生化II)
			所要日数	3～7日	2～6日
			検査方法	EIA法	CLEIA法
			JLAC10	5J095-0000-099-023-01	5J095-0000-099-052-01
			最小報告値	100 U/mL未満	50 U/mL未満
	2489	コレスタノール	検体量	血清 0.5mL	血清 1.0mL
所要日数			6～24日	5～31日	
検査方法			LC-MS/MS法	GC法	
基準値			設定なし $\mu\text{g/mL}$	《参考値》 $2.35 \pm 0.73 \mu\text{g/mL}$	
報告形態			小数点第1位	小数点第2位	

別添：変更項目一覧

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
—	0587	シュウ酸 尿	所要日数	4～12日	4～12日
			基準値	8.9～41.0 mg/day	男：10.3～41.5 女：9.0～37.7 mg/day
			報告形態	/day：小数点第1位	/day：小数点第2位
			備考	6N塩酸10mLを入れ24時間蓄尿し混和後必要量を冷蔵保存 24時間尿量を明記 尿量が予め少ないと予想される場合は尿200mLに対し6Nの塩酸1mLの割合で入れ必ず酸性蓄尿として提出 酸性蓄尿されていない場合はシュウ酸カルシウムが析出する可能性有り 凍結不可	6N塩酸10mLを入れ24時間蓄尿（pH2以下）混和後必要量を冷蔵保存 24時間尿量を明記 尿量が予め少ないと予想される場合は尿200mLに対し6Nの塩酸1mLの割合で入れ必ず酸性蓄尿として提出 酸性蓄尿されていない場合はシュウ酸カルシウムが析出する可能性有り
	2459	ドーパミン 血漿	検体量	血漿 2.0mL	血漿 1.5mL
			所要日数	9～16日	6～14日
			基準値	0.50～6.20 ng/mL	1.8～7.7 ng/mL
			報告形態	小数点第2位	小数点第1位
			最小報告値	0.20 ng/mL以下	0.1 ng/mL以下
	6738	ペントシジン	保存	必凍	凍結
			所要日数	17～21日	15～21日
			JLAC10	3D110-0000-022-023-49	3D110-0000-022-023-01
			基準値	0.00915～0.04310 μg/mL	《参考値》 0.00915～0.0431 μg/mL
			報告書	別紙報告書	総合報告書
	1784	麻疹ウイルス抗体 IgM 髄液【EIA法】	検体量	髄液 0.7mL	髄液 0.4mL
			所要日数	3～6日	3～7日
	1783	麻疹ウイルス抗体 IgG 髄液【EIA法】	検体量	髄液 0.7mL	髄液 0.4mL
			所要日数	3～6日	3～7日
	7344	新型コロナウイルス IgM抗体【CLIA法】	所要日数	3～6日	2～6日
			最小報告値	1.00未満	0.00

別添：ビタミンC（アスコルビン酸）の採取方法

◆ 前処理（除蛋白）手順

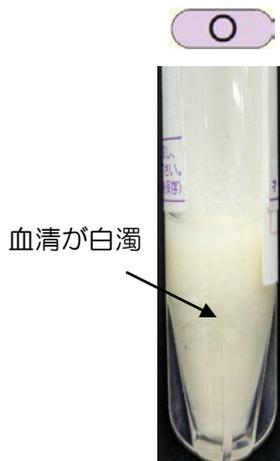
① あらかじめ3種の容器を用意してください。



② 血液をA1容器に採取し速やかに遠心分離を行います。



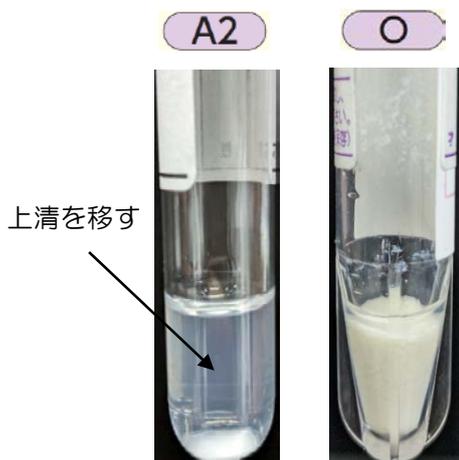
③ 血清 1.0mL を正確にO容器に移し替え、転倒混和します。（血清が白濁します。）



④ O容器を遠心分離（3000rpm,5分間）します。無色透明の上清と沈殿物に分離されます。



⑤ 無色透明の上清をA2容器に移し替えます。



⑥ A2容器をアルミホイルで遮光し、凍結保存します。

